

# ロシアによるウクライナ侵略の状況

(2023年5月24日時点)

▶ **ウクライナ軍が南部及び東部の露軍への抵抗を継続するとともに反転攻勢に向けた動きを活発化させる一方、露軍は東部における占領地拡大に向けた作戦や各地の非軍事施設に対する攻撃を継続している模様**

戦闘による人的被害・物的損耗の状況

露軍: 死者約6万~7万人 (CSIS2月27日)

: 死傷者約18万人 (クリストファーセン・ノルウェー軍参謀総長1月22日)

「ウ」軍: 死者最大約1万3千人 (ポドリャク「ウ」大統領府長官顧問22年12月1日)

: 死傷者推定10万人以上 (クリストファーセン「ノ」軍参謀総長1月22日)

「ウ」市民: 死者8490人以上、負傷者1万4,244人以上 (OHCHR4月10日)

- 5月16日、英国及びオランダの両首相はウクライナへの戦闘機の調達や訓練を支援する「国際的連合」の設立を表明
- 5月17日、独国防相は、ウクライナへの戦闘機供与を支援する英国の取り組みに関して、ドイツには積極的に貢献するための訓練能力も適切な軍備もないと発言
- 5月19日、バイデン大統領は、欧州からウクライナへのF-16戦闘機の提供を認める方針を示し、ウクライナ軍パイロットの訓練を欧州各国とともに支援する意向を表明

- ウクライナ北東部ハルキウ州と接するロシア領ベルゴロド州の知事は、「ウ」軍がロシア領土内に侵入した」と発表(5月22日)
- 「ウ」軍情報総局報道官は、「ロシア国民からなる「ロシア自由軍団」と「ロシア志願兵軍団」がロシア領ベルゴロド州で民間「ウ」人保護のための安全地帯を作るために作戦を遂行している」と発表(5月22日)
- ロシア人部隊「ロシア自由軍団」は、「クレムリンの独裁政治を終わらせる」とSNSに投稿。さらに、ベルゴロド州内のコジンカを制圧し、グライヴオロンに向けて前進していると投稿(5月22日)
- ロシア国防省は、西武軍管区の航空部隊による攻撃や砲兵により、ベルゴロド州に侵入した部隊は撃滅されたと発表(5月23日)

- ワグナーのプリゴジン氏は、ドネツク州のバフムトを「完全に掌握」したと発表(5月20日)
- ロシア大統領府は、プーチン大統領がバフムト解放作戦遂行を祝福したと発表(5月21日)
- マリヤル「ウ」国防次官は、「ウクライナ軍部隊がバフムト郊外で進軍している」と指摘(5月21日)
- 米戦争研究所(ISW)は、ロシア軍がバフムト西部境界線に到達した可能性が高いと指摘(5月23日)

- ショイグ国防相は、南部ザポリヅジャ正面に展開する編組部隊「ヴォストーク」指揮所を視察、現地指揮官に対し、「ウ」軍の計画を事前に察知し、その実行を阻止するための偵察活動を強化するよう指示(5月19日)

- ゼレンスキー大統領は、東部の前線を視察、ドネツク州ヴァレダル及びマルインカ間の防衛線に所在する「ウ」軍兵士らを訪問(5月23日)

- 主要都市(下線は州都)
- ☀ 露軍による攻撃が報じられた主な地点(接触線以外)
- 露軍が占領した地点
- 👉 侵略開始後に露軍が占領し保持している地域
- 👈 ウクライナ軍が奪還した地域

